

一流は一流を 知る

一盃のお茶をたてて、客人をもてなす。そこに世界平和への祈りを込める。
500年にも及ぶ「伝統文化の継承」という枠を超え、茶道裏千家十五代家元として
茶の道から平和の尊さを説き、世界中を飛び回ってきた。
理念として掲げる「一盃からピースフルネスを」に込める思い。
その原点には、特攻隊員として太平洋戦争を戦った苦難の経験がある。

利休が伝えた茶の心

今から500年前、戦国の時代に、なぜ私の先祖利休が茶の道を作ったのか。それは単なるティーセレモニーではなく「ウェイ・オブ・ティー」、深い精神論から成る一つの道でした。利休が教えたのは「和敬清寂(わけいせいじゃく)」の精神です。「和」は平和の和、そして調和の和です。聖徳太子が憲法十七条の一つ目としてお作りになった「以和為貴(和を以て貴しと為す)」から発祥しています。平和を実現するには調和がないといけません。「敬」は互いに敬い合うということ。人間はみんな一緒、平等です。差別はいけません。どんな人に対しても敬う気持ちを持たなければならぬ。平等の中に本当の敬意が生まれるということを伝えていきます。「清」は清らかさ。ビューリファイです。完全な人間などいません。それぞれ己の「我」があり、苦しみや不安がある。だから少しでも苦しみから脱却するために、我欲や悪を捨て、善になるために清らかな心で努力しようということです。「寂」は、不動の信念、落ち着いた心を表します。どんなことがあつ

ため、身分を超えたさまざまな人々のために、一盃のお茶を通してみんなが仲良く暮らせるようにと考へ出したものでした。ですから侍といえども武器を持って茶室に入ることはできません。わざわざ茶室の入り口を小さくし、刀を差しては入れないことを示したのです。茶室に入るときは外の刀掛けに刀を置いて低頭して入る。これで素の人間に戻るのです。信長だろうが秀吉だろうが、茶室に入れば人間みんな一緒。身分や立場に関係なく一盃のお茶を回して皆でいただく。お茶そのものが平和なのです。

一盃から学ぶ平和と心

残念なことに、現在も地球上では争いが絶えません。今の世の中こそ「和敬清寂」の精神が必要です。私はお茶を通してその心をお伝えするために世界中を訪問しています。



平成14年2月 カンボジア アンコールワット平和祈念献茶式

した。そして特攻隊の搭乗員となりました。死と隣り合わせの日々でした。たくさんの仲間が海へと散っていきました。未だに遺骨の上がない仲間もいるのです。人はなぜ戦争というものをしなければならないのか。戦争ほど無意味で悲しいものはありません。始まってからでは遅いのです。なんとしてでも防がなければなりません。武器を捨て、みんなが一盃のお茶をありがたうと、互いに謙虚にすめ合う。自然の恵みや命に感謝して、お茶をいただきながらみんなの幸せを祈る。「一盃からピースフルネスを」とは私の理念であり、茶の道が果たす使命であると思っています。

茶の道は「心学」です。心を学ぶために難しい作法があります。これは商売でもスポーツでも学問でも芸事でもどんなことにも共通して言えること。何か一つのことを修道しながら人は心を学ぶのです。簡単にできてしまつたら分からないものです。大事な心というものは、仏教の教えの中に「安穩(あんのおん)」という言葉がありますが、心を学ばずして安らかで穏やかな世界には至らない。洗濯でもいい、料理でもいい、そうじでもいい。一つの道を究めるといことは己の心を磨くことなのです。人間はみんな中途半端です。私の父は「死んでからも修業だぞ」と言いました。これまでにいろいろな経験を積んできましたが、私自身まだまだ未完成の「小僧」です。心を磨くことに終わりはない、そう思っています。



平成21年9月 バチカンにおいてローマ教皇ベネディクト16世に特別謁見

ても動ぜず、しっかりした信念をもって生きようというメッセージです。利休が作った「和敬清寂」こそ茶の道の哲学であり、思想です。信長と秀吉につかえ、武家諸公の

茶道裏千家 十五代家元 大宗匠・千玄室 (せんげんしつ)

1923年京都市生まれ。同志社大学卒業後、ハワイ大学修学。大徳寺管長後藤瑞藏老師のもとで修業得度、齋号「鸚雲齋」安名「玄秀宗匠」を受け若宗匠となる。64年、茶道裏千家第十五代家元となり宗室を襲名。2002年、婦男に家元を譲渡し、汎世千玄室大宗匠となる。「一盃からピースフルネスを」の理念を提唱し、世界60か国300回以上歴訪。茶道文化の浸透・発展と世界平和の実現に向けた活動を展開している。紫綬褒章、藍綬褒章及び文化功労者国家顕彰、勲二等旭日重光章、文化勲章はじめ、芸術文化勲章コマンドール、レジオンドヌール勲章オフィシエ(フランス)、アラブ首長国連邦勲章第一級を受章。日本・国連親善大使、日本国 観光親善大使、日本国際連合協会会長、日本馬術連盟会長、哲学博士、文学博士。

「一盃のお茶から心を学ぶ」。 「和敬清寂」は茶道の哲学、思想。

自然を尊び、生きる

昨年、東北は大変な被害に遭われました。秋田の皆さまも辛い思いをされたことでしょう。また、原発の問題もあり日本はまだ試練の中にあります。

地球は人間だけのものではありません。「地球に住まわせていただいている」という気持ちを忘れてはいけません。科学文明が発達する一方、人間は勝手な争いをし、自然をつぶしてきました。昔の人は、貧しく不便であっても自然の恵みに感謝して生きていました。今、私たちは感謝どころか我欲の固まりではないでしょうか？

お茶の心をお伝えする際、私はこう説明しています。「お茶碗は丸い。それは地球を表し、その中にたてられた

茶の緑は植物です。地球の尊い自然に感謝を込めて、両手で大事にお茶碗を持つ。そしていたわりの気持ちでお茶を飲んでみてください」と。その時、初めて地球と人とが一体になるのです。草木一本一本への感謝の心が茶の心。海外でこの話をした時、感激して涙を流す方もいました。

それと「陰陽」という教えがあります。東北の震災は「陰」となりましたが「陽」になってほし

い。陰があれば陽があり、陽があれば陰がある。陰の今こそ陽を大事にしないと。陽の心で動く前向きな気が伝播します。「頑張ろう」の言葉だけではなく、陽の気持ち、笑顔で肩を叩き合って助け合うのです。私の母は仙台出身、私にも東北の血が流れています。共に感謝の心を忘れず、陽の気持ちで安穩の世界を作りましょう。



平成21年12月 アブダビ ムハンマド皇太子に献上の「緑水庵」茶室披露



〔謹賀新年〕

自然の恵み、伝統の技、人の手で作る本物の旨さ。

全国各地への発送も承っております
お申し込みはフリーダイヤル(料金無料)をご利用ください

0120-1728-19

■通話料無料 ■承り時間/9時~17時(日曜・祝日を除く)

FAX0120-1728-46

■通話料無料 ■24時間受付

インターネットからもご購入いただけます <http://www.kanbun.co.jp>

- お届け先1か所につき商品合計額が5,250円(税込)以上は、送料無料で。5,250円(税込)未満の場合は420円(税込)となります。
- お支払いは、郵便局・コンビニ・代引(手数料315円(税込))・クレジットカードでお願いします。(21,000円以上お買上げの場合は、代引またはクレジットカードで)
- 商品のお届けはご注文受付後、通常7日前後です。着日指定も承ります。
- ご不明な点は、左記フリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください。
- 沖縄県、離島へのお届けの場合は、離島配送料金630円(税込)を、別途加算させていただきますのでご了承ください。

5,250円以上



3,885円



13年連続「最高金賞」受賞

モンド・セレクション一九九九年~二〇一二年
国際最高品質賞二〇〇一年・二〇〇四年・
二〇〇七年・二〇一〇年受賞



モンド・セレクション 2011
最高金賞「ゴールドメダル」

非効率主義 寛文五年堂

秋田県湯沢市稲庭町字三嶋34 TEL0183 (43) 2114・FAX0183 (43) 2855 URL <http://www.kanbun.co.jp/> ご注文専用 ☎0120-1728-19 受付時間 9:00~17:00 (月~金)

■秋田市・西武秋田店、イオン秋田中央店、他各店、藤木、秋田県産品プラザ(アトリオン地下1階)、秋田市民市場 加藤本店、石川酒店(トピコ2階) ■大館市・いとく大館ショッピングセンター、他各店 ■鹿角市・関小市商店 ■大仙市・タカヤナギ各店、大阪屋、停車場こまち ■横手市・イオン横手店 ■利根本荘市・イオンスーパーセンター各店 ■にかほ市・泉屋商店 ■仙北市角館町・角館こだわり蔵 ■湯沢市・小川忠太郎商店、カドヤ